

	ブリキのおもちゃ博物館館長 北原照久さんの講演会を開催 ～北原さんが語る「コレクションの楽しみ」～
と き	講演会 10月6日(日)午後2時～4時 特別展 9月21日(土)～11月17日(日) 午前9時～午後6時 月曜休館(祝休日は開館、翌火曜は休館)
と ころ	練馬区立石神井公園ふるさと文化館(石神井町5-12-16) 西武池袋線石神井公園駅下車徒歩15分

6日、ブリキのおもちゃ博物館館長・北原照久さんのコレクション展「懐かしの風景～北原コレクションの世界」を開催中の石神井公園ふるさと文化館で、北原さんの講演会が開催された。

「コレクションの楽しみ」というテーマで、北原さんはプロジェクターを使いながら自身のコレクションの見どころを紹介。「ただ集めて終わりではなく、集めたところから研究が始まる。ものを通してその時代に想いを馳せることができるのがコレクションの魅力。20世紀の貴重な資料として後世に残していきたい」と訴えた。講演会は、電話受付開始から半日で定員に達してしまうほどの人気で、集まった100人の来場者は熱く語る北原さんの話に真剣に聞き入っていた。

北原照久さんは、東京・京橋出身のおもちゃコレクター。コレクション展では、おもちゃをはじめ、広告ポスター、現代美術品、ノベルティ・グッズなど多岐にわたる膨大な数のコレクションの中から、誰もが一度は目にしたことがある懐かしい品々を展示している。来場者に懐かしさをより感じてもらえるよう、大正から高度経済成長期後半にかけての各年代の練馬の写真と一緒に、その時代のコレクションを展示。昭和39年の東京オリンピックに関連したたばこのパッケージや貯金箱と、当時練馬区内で撮影された聖火リレーの写真が並んで展示されるなど、その年代へのタイムスリップを楽しめる。5日現在の来場者数は1000人を超え、大変好評を博している。

観覧料は一般300円、高校・大学生200円、65～74歳の方150円、中学生以下と75歳以上の方無料



講演する北原さん



コレクション展の様子

【主な展示物】

- 大正・昭和戦前期：セルロイド製の人形、雑誌の付録、家庭用置き薬の袋、お菓子のパッケージ
- 昭和戦中期：紙製のおもちゃ、戦時中の広告ポスター
- 戦後復興期：ブリキ製のおもちゃ、カストリ雑誌、駄玩具
- 高度経済成長期前半：看板、マスコット、ノベルティ・グッズ、電池で動くおもちゃ
- 高度経済成長期後半：東京オリンピック関連グッズ、大阪万博関連グッズ、着せ替え人形

【会期中の今後のイベント】

「ギャラリートーク」

と き：10月23日(水)・27日(日)午後2時～2時30分

ゲスト：ブリキのおもちゃ博物館館員 早川香恵子

申 込：当日会場受け付け(当日の観覧券が必要)

【問い合わせ】 石神井公園ふるさと文化館 電話 03-3996-4060